

科学研究費助成事業 研究成果報告書

令和 6 年 6 月 25 日現在

機関番号：14301

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2019～2022

課題番号：19H04350

研究課題名(和文) インドネシアにおける土地所有権と泥炭地回復

研究課題名(英文) Land ownership and peatland restoration in Indonesia

研究代表者

水野 広祐 (Mizuno, Kosuke)

京都大学・東南アジア地域研究研究所・名誉教授

研究者番号：30283659

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 13,200,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は泥炭地回復と土地権の関係、さらに泥炭地回復の経路を世帯調査や住民参加型土地所有マップの作成などを中心とする農村調査によって研究した。本研究から、土地権の競合が起こる時は泥炭湿地林の荒廃が進んだのに対し、住民は土地権を確保した後は泥炭地を保全する行動にでることを明らかにした。住民参加型土地所有マップの作成は、共有地の存在(正確な位置や面積)を住民に認識させる、企業の利用地がコンセッション域との相違を明示化し、住民の土地権意識への強化につながった。泥炭荒廃は市場の失敗、共同体の失敗、政府の失敗から生み出され、これらを同時に回避できるときに泥炭地の回復が可能となることを明らかにした。

研究成果の学術的意義や社会的意義

泥炭地の荒廃の原因を解明し、その回復や保全の努力を地域住民とともに実践する中から、泥炭荒廃と保全を規定する最も主要な要因が土地問題であることを明らかにした。すなわち、土地権に対する競合があるときは泥炭荒廃を、一方土地権が確保されたのちは泥炭が保全される、さらに国家林における政府と住民の重層的な土地権問題について、慣習法は住民の泥炭地保全に意義があること、しかし政府はこれを認めようとならないという問題を明らかにした。本研究は、土地権と環境の関係を立証し、環境史と土地権という新たな学問領域を開いた。本研究は活発に成果を公刊し、オープンアクセスの2冊の英書、さらに2冊の英書を公刊することに成功した。

研究成果の概要(英文)：This study investigated the relationship between peatland restoration and land rights, as well as the pathways of peatland restoration, through rural surveys, mainly household surveys, and participatory land tenure mapping. The study found that peat swamp forests were more degraded when there was competition for land rights among stakeholders, whereas residents took action to conserve peatlands once they had secured land rights. The creation of participatory land tenure maps made people aware of the existence of common land (exact location and area), clarified the differences between the land used by companies and the concession area, and strengthened people's awareness of their land rights. It was shown that peat degradation is the result of market, communal, and government failures, and that peatlands can be restored when these can be avoided simultaneously. This study created the academic area of environmental history and land rights.

研究分野：地域研究

キーワード：土地所有権 泥炭地回復 環境(環境史) 政府指定の森林地域 泥炭地火災 市場、共同体、政府の失敗 SKT(土地説明書) 慣習法

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

様式 C-19、F-19-1、Z-19（共通）

1. 研究開始当初の背景

泥炭地の荒廃の背景には、土地問題が存在する。泥炭地はほとんどが政府指定の森林地域にあり、あまりに広大であることから、多発する泥炭火災に対処しきれないという点、さらに政府指定の森林地域が広大であるがゆえ、大規模な産業造林地としてのコンセッションが与えられることも、従来の泥炭湿地林の生態系を大幅な変更をもたらし、これが予期せぬ泥炭火災を生んだ。すなわち、泥炭地におけるアカシアプランテーションやアブラヤシ農園の造成は大規模な排水を伴いこれが泥炭地を乾燥させて火災を誘発した。また、政府指定の森林地域であることから、1999年林業法に従えば住民やその利用に許可があるが、企業はともかく住民の間で土地利用許可を得ているものはほとんどいない。一方、1960年土地基本法は「インドネシアの土地権は慣習法に基づく」と規定していることから、住民の慣習土地権はどのように尊重されるのかという問題がある。

2. 研究の目的

本研究は、1)今日のインドネシア社会で多くの努力が傾けられている地球的規模の環境問題である荒廃泥炭地の回復問題にたいし、エンタイトルメント（ある社会において正当な方法で財の集まりを自由に用いることのできる能力・資格）の回復ともいべき土地権の強化を伴った荒廃泥炭地の回復モデルを提示し実現することを目的とする。2)政府指定の森林地域下にある住民の土地について、土地利用計画などの検討や多面的機能の検討により土地権の回復の道を示すことを目的とする。その過程で、土地権や利用の実態、さらに重層的土地機能を明らかにし、それらを反映した解決策を考察するため、住民参加の土地権利・利用マップを作成する。3)そして、これらの問題の解決や検討を通じ、また歴史的経緯を検討して広い地域の土地権や慣習法を再検討する。これらにより、今日の慣習法の在り方を明らかにして住民の土地権強化をもたらす方策を考え、慣習法の持つ意味を明らかにする。

3. 研究の方法

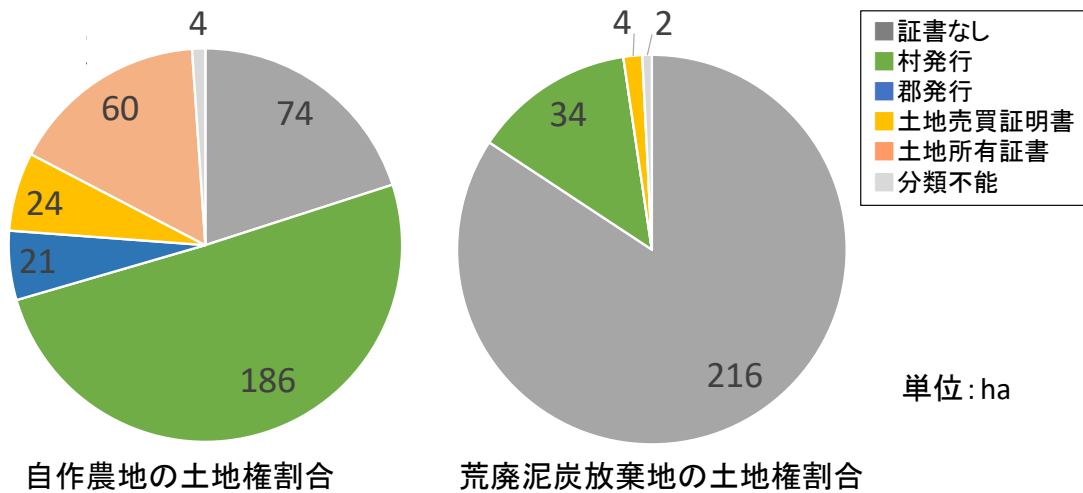
- (1) 住民にとって深刻な問題の解決をはかり、エンタイトルメントの回復を目指す、土地権の改善を組み込んだ泥炭地回復のモデルを確立する。
- (2) 住民参加の土地所有マップを作成する過程で、土地権をめぐる様々な法律や土地利用計画、利用区分の関係を明らかにすると同時に、住民の土地に対する認識の変化を捉える。
- (3) 泥炭地における土地権について、世帯社会経済慣習法調査をベースに多くの県や村で調査を行い、1960年土地基本法の理想に合致する土地権原則の確立のための方策を検討し明らかにする。
- (4) 政府指定の森林地域における土地問題について、今日の問題解決のため、今日の問題の実態と共に今日の姿をもたらした歴史的経緯を明らかにする。

4. 研究成果

- (1) 本プロジェクトの土地権と泥炭地利用の調査から以下の点が明らかになった。まず、「土地権の強化は泥炭地保全を促進する」と仮説を立てて検討した結果、土地権の競合が生じると住民は泥炭湿地林を開墾する、さらに従来共有地的な性格のあった泥炭湿地林の個人保有地化を図った点で、決して泥炭地保全的ではないことが明らかになった。一方、住民がSKT（土地説明書、地籍図などに基づかず、村役場が発行するが政府指定の森林地域における発行が禁止されているいわば慣習法に基づく書類）などを得るなどの方策で慣習的にせよ土地権を確保すると、今度は土地保全の方向性を持つことが明らかになった。

タンジュン・ルバン村における土地所有と放棄の関係

- 自作農地、荒廃放棄地における土地権の取得状況の比較。



土地権が強いほど、住民は泥炭地をよく管理する

(出所) Mizuno Kosuke, Hayati Sari Hasibuan, Okamoto Masaaki and Farha Widya Asrofani, 2023, Creation of the State Forest System and Its Hostility to Local People in Colonial Java, Indonesia Southeast Asian Studies, Vol. 12, No. 1, April 2023, pp. 47-87. DOI: 10.20495/seas.12.1_47

(2) 政府は、政府指定の森林地域における土地権の重複問題を解決するため、善意の住民が過去 20 年以上居住し土地紛争がないなどの条件を満たす時、政府指定の森林地域の境界を変更して住民の土地所有権を認め土地証書を与える、ないし、20 年に満たない居住帰化である場合の社会林業の実施するという指針を出している。しかしこれはあくまで指針であって、具体的にはこれらのプログラムを積極的に実施する主体が能動的に行動する必要がある。この点で、本科研はその可能性を追求した。政府指定の森林地域に居住する住民で、土地紛争を抱えていない住民は当面社会林業実施の必要性を感じていないこと、SKT を発行しないという政府方針にもかかわらず、村役場は依然として SKT を発行するが、SKT は土地所有証書ではない、また SKT の存在によって住民間の土地紛争を予防でき、かつ泥炭火災が生じたときにだれが消火に当たるべきかを明示することができその有用性は明確であること、このような SKT 発行の根拠となっているいわば住民間の土地権承認の慣行=慣習法の有用性を明らかにした。一方、企業のもつ産業造林権、政府指定の森林地域さらに住民土地権が重複する地域では、企業は、政府の介入を招く社会林業を嫌いその実行は困難であった。

(3) 本科研は、2020 年から 2021 年にかけてリアウ州の Pelawalan 県の M 村において住民や NGO と共に参加型土地所有マップを作成した。このマッピングから、村落の非常に広い土地が村外の華人、マレーらのむしろ都市住民の土地となっていること、住民の間にも泥炭地を売却する傾向があきらかになった。他方、慣習コミュニティが存在する地域で

は、慣習コミュニティ地の境界と村落行政の境界が大きく異なること、慣習コミュニティの領域の減少傾向が見られ、その一つの原因はアブラヤシ農園の拡大にあった。これらのアブラヤシ農園地は慣習コミュニティの領域を侵害しているが、これに対して抗議しないのかと言う問いに対して Tidak Berani（勇気をもてない）という回答であった。これらのマッピングから、会社の実際の経営地が会社が許可を得ている境界と異なることも明らかになった。また、住民の多くは土地証として SKT（土地説明書）を持っていること、また、SKGR（土地代金補償書）を持っていることも明らかになった。この SKGR は土地の売買に関わる土地売買公正証書の代替としての役割、さらに金銭借入れ関係証明の役割があり、土地取引を前提としている。これらも住民の土地権強化の動き、他方土地取引頻度の上昇が窺えた。また、このような参加型土地所有マッピングの結果、住民らが持つ共有地の境界や面積が明らかになって、住民や慣習首長がそれを認識するに至った。このように住民の土地権意識が個人保有地としても共有地としても高まる傾向にあり、本科研にこのような住民の土地意識に向上に重要な役割を果たした。

- (4) 本科研は、土地権のエンタイトルメントの回復を含む泥炭地回復のモデルを提示した。すなわち、泥炭地の荒廃は、① 企業が自らの造成したアカシア造林がコンセッション周辺の泥炭地乾燥化と火災の発生と言う事実（企業活動がもたらす社会費用）を十分認識せず泥炭火災を発生させた（市場の失敗）。② 地域住民は泥炭火災にあう泥炭湿地林をみて、泥炭湿地林の保全を図る、企業に火災地の回復を求める補償金の支払いを求めるなどの行動をとらず、むしろコモنزとしての性格もあつた泥炭湿地林から森林を伐採して木材を売却し、跡地を住民間で分割して私的保有地としてアブラヤシを栽培、さらに泥炭地の荒廃を進めた（共有地の悲劇）、③ ほとんどの土地は政府指定の森林地域にあり政府は泥炭火災の抑制などの政策を取るべきであったが実際にはほとんど無力であった（政府の失敗）。これらの 2000 年から 2013 年までの状況であった。これがおよそ 2015 年以降おおきく変化した。すなわち、企業は特に 2019 年以降乾期も企業が上流で抱える水を下流の住民地域に流して火災を防止するなど、様々な方策で泥炭火災の防止に努めた（社会費用の内部化）。住民は、特に 2016 年の泥炭地回復庁の設立実施された様々な政策の結果その防火意識を向上させた。また、防火住民組織（Masyarakat Peduli Api）などの活動が活発になった。これらには住民の地域の泥炭地を一種の共有地として認識する傾向を見ることができ（コミュニティの失敗の回避）。さらに政府は、2016 年の泥炭地回復庁の設立とその後の活動、2019 年以降の JICA プロジェクトの開始など様々な泥炭地回復の活動を進めた。これらは政府の失敗の回避と言える。これらのファクターが重なることにより泥炭地回復と泥炭火災の抑制が可能になることを示した。
- (5) 本科研は、リアウ州の調査地域における、植民地の土地権、独立との土地権、1960 年土地基本法と 1967 年林業基本法制定後の土地権、1990 年代の林業プランテーション設立後の変化を、慣習法、国家法との関係の中でその変化を明らかにした。一方、これが環境の変化におよぼした影響、すなわち、植民地期のパンロン制度下（シンガポールの企業家の資本と華人労働力を利用した森林伐採ビジネスとこれに対する蘭印政府による徴税と労働者保護制度）の森林伐採、1967 年林業基本法に基づく森林伐採、移民の流入、林業プランテーション設立のとこれによる土地開発と住民の対応による泥炭地破壊の変化を明らかにし、土地権からみた環境史についてロジックを展開、この分野における研究の先駆けとなった。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計52件（うち査読付論文 51件 / うち国際共著 49件 / うちオープンアクセス 43件）

1. 著者名 Mizuno, Kosuke, Michiko Hosobuchi, Dyah Ayu Ritma Ratri	4. 巻 巻なし
2. 論文標題 Land Tenure on Peatland: A Source of Insecurity and Degradation in Riau, Sumatra,	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 in Mitsuru Osaki, Dr. Nobuyuki Tsuji, Nazir Foead, Jack Rieley ed, Tropical Peatland Eco-management, Singapore: Springer	6. 最初と最後の頁 627-649
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 Karmila, YA, K Mizuno, A Maas, HG Saiya	4. 巻 802
2. 論文標題 Adaptation management to minimize land fires in peatland hydrological unit Bengkalis Island	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 IOP Conference Series: Earth and Environmental Science	6. 最初と最後の頁 12010
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1755-1315/802/1/012010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Ratri DAR, K Mizuno, DN Martono	4. 巻 802
2. 論文標題 , The effectiveness of breakwaters decreasing the peat shoreline change in Bengkalis Island	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 IOP Conference Series: Earth and Environmental Science	6. 最初と最後の頁 12007
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1755-1315/802/1/012007	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Mahpud Sujai, Kosuke Mizuno, Tri Edhi Budhi Soesilo, Riko Wahyudi Joko Tri Haryanto	4. 巻 5
2. 論文標題 Village Fund for Peatlands Restoration: Study of Community's Perceived Challenges and Opportunities in Muaro Jambi District,	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Forest and Society	6. 最初と最後の頁 604-618
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24259/fs.v5i2.14187	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 S Tijjani , K Mizuno, and H Herdiansyah	4. 巻 940
2. 論文標題 The Loss of Ecosystem Services in Women ' s Forest at Youtefa Bay, Jayapura, Papua, Indonesia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 IOP Conf. Series: Earth and Environmental Science	6. 最初と最後の頁 12061
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1755-1315/940/1/012061	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 S Leo, J Supriatna and K Mizuno,	4. 巻 940
2. 論文標題 A Description of Dayak Iban ' s Traditional Knowledge on Customary Forest Management in West Kalimantan, Indonesia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 IOP Conf. Series: Earth and Environmental Science	6. 最初と最後の頁 12074
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1755-1315/940/1/012074	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 J Delly, K Mizuno, TEB Soesilo, M Gozan,	4. 巻 940,
2. 論文標題 The Seawater Heavy Metal Content of the Mining Port Close to the Residential Area in the Morowali District	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 IOP Conference Series: Earth and Environmental Science	6. 最初と最後の頁 940,
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1755-1315/940/1/012019	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Sandy Leo, Jatna Supriantna, Kosuke Mizuno, Chris Margules	4. 巻 23
2. 論文標題 Indigenous Dayak Iban customary perspective on sustainable forest management, West Kalimantan, Indonesia	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Biodiversitas	6. 最初と最後の頁 424-435
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5821/ace.16.48.10631/10.13057/biodiv/d230144	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Okamoto Masaaki	4. 巻 巻なし
2. 論文標題 Kekerasan dan Partisipati Politik di Indonesia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Wijayanto, Aisah Putri Budiartri, Herlambang P Wiratraman, Demokrasi tanpa Demos: Refleksi 100 Ilmuwan Sosial Politik tentang Kemunduran Demokrasi di Indonesia (Jakarta: LP3ES)	6. 最初と最後の頁 .514-524
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Okamoto Masaaki	4. 巻 巻なし
2. 論文標題 Depoliticizing Social Cleavages for Democratic Consolidation in Indonesia,	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Hsin-Huang Michael Hsiao, Alan Hao Yang, The Volatility and Future of Democracies in Asia (London and New York: Routledge)	6. 最初と最後の頁 51-74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nakagawa Hikaru, Osawa Takamasa, Akhwan Binawan, Kurniawati Hastuti Dewi, Hasegawa Takuya, Desti Zarli Mandari, Nofrizal, Wahyu Prasetyawan, and Okamoto Masaaki	4. 巻 10
2. 論文標題 Local Names of Fishes in a Fishing Village on the Bank of the Middle Reaches of the Kampar River, Riau, Sumatra Island, Indonesia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 , Southeast Asian Studies	6. 最初と最後の頁 .435-454
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20495/seas.10.3_435	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Okamoto Masaaki	4. 巻 巻なし
2. 論文標題 Chapter, 3: Non-state Violence and Political Order in Democratized Indonesia	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Atsushi Yasutomi, Rosalie Arcala Hall, and Saya Kiba, Pathways for Irregular Forces in Southeast Asia: Mitigating Violence with the Nonstate Armed Groups (New York: Routledge), 214p	6. 最初と最後の頁 50-72,
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4324/9781003143994-4, 2022/3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Mizuno, Kosuke,	4. 巻 15
2. 論文標題 Comment on 'Making Economic Policy in a Democratic Indonesia: The First Two Decades'	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Asian Economic Policy Review	6. 最初と最後の頁 1-2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/(ISSN)1748-3131	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 F W Asrofani , H S Hasibuan and K Mizuno	4. 巻 448
2. 論文標題 Valuation of Coastal Ecosystem Services: A Case of Tangerang Regency, Indonesia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 IOP Conf. Series: Earth and Environmental Science	6. 最初と最後の頁 12097
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1755-1315/448/1/012097	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nanik Ambar Suharyanti1 , Kosuke Mizuno , and Ahyahudin Sodri	4. 巻 211
2. 論文標題 The effect of water deficit on inflorescence period at palm oil productivity on peatland	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 E3S Web of Conferences	6. 最初と最後の頁 5005
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1051/e3sconf/202021105005	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Amith Phetsada, Kosuke Mizuno	4. 巻 7
2. 論文標題 Hydropower Development and its Impact on Local Communities in Laos: A Case Study of the Nam Ou 2 Project,	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Lao Studies (JLS)	6. 最初と最後の頁 99-120
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 San Afri Awang, Kosuke Mizuno, Hanni Adiati	4. 巻 Jakarta: Kompas
2. 論文標題 Pembelajaran Pengendalian Gambut Untuk Mitigasi dan Adaptasi Pengurangan Terhadap Perubahan Iklim	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Siti Nurbaya, Nur Masripatin, Soeryo Adiwibowo, Yulia Sugandi, Thomas Reuter ed. Trilogi Indonesia Menghadapi Perubahan Iklim Krisis Sosial Ekologi Keadaan Iklim	6. 最初と最後の頁 20-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Okamoto Masaaki,	4. 巻 1
2. 論文標題 Anatomy of the Islam Nusantara Program and the Necessity for a "Critical" Islam Nusantara Study	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Islam Nusantara Study.	6. 最初と最後の頁 13-40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.47776/islamnusantara.v1i1.44	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Mizuno Kosuke	4. 巻 15/2
2. 論文標題 Comment on 'Making Economic Policy in a Democratic Indonesia: The First Two Decades'	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Asian Economic Policy Review	6. 最初と最後の頁 1-2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/aepr.12309	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Asrofani F W, Hasibuan H S, Mizuno K	4. 巻 448
2. 論文標題 Valuation of Coastal Ecosystem Services: A Case of Tangerang Regency, Indonesia	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 IOP Conference Series: Earth and Environmental Science	6. 最初と最後の頁 012097 ~ 012105
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1755-1315/448/1/012097	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Mizuno Kosuke, Hayati Sari Hasibuan, Okamoto Masaaki and Farha Widya Asrofani	4. 巻 12
2. 論文標題 Creation of the State Forest System and Its Hostility to Local People in Colonial Java, Indonesia	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Southeast Asian Studies	6. 最初と最後の頁 47-87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20495/seas.12.1_47	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Mizuno Kosuke, Masuda Kazuya, Syahza Almasdi	4. 巻 巻なし
2. 論文標題 Peatland Degradation, Timber Plantations, and Land Titles in Sumatra	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Vulnerability and Transformation of Indonesian Peatlands, Singapore, Springer	6. 最初と最後の頁 17 ~ 49
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-99-0906-3_2	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 加反 真帆, 御田 成顕, 水野 広祐	4. 巻 61
2. 論文標題 インドネシアの泥炭保全ガバナンスがもつ経済的機会の偏向性	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 東南アジア研究	6. 最初と最後の頁 93 ~ 124
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.20495/tak.61.2_93	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Mizuno Kosuke, Fujita Motoko S., Kozan Osamu, Itoh Masayuki, Shiodera Satomi, Naito Daisuke, Suzuki Haruka, Gunawan Haris	4. 巻 巻なし
2. 論文標題 Introduction: The Vulnerability and Transformation of Indonesian Peatlands	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Vulnerability and Transformation of Indonesian Peatlands, Singapore, Springer	6. 最初と最後の頁 1 ~ 13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-99-0906-3_1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Satyanto Krido Saptomo, Budi Indra Setiawan, Yudi Chadirin, Kazutoshi Osawa, Toshihide Nagano, Kosuke Mizuno, Dian Novarina, Susilo Sudarman, and Aulia Aruan	4. 巻 巻なし
2. 論文標題 Patterns of CO2 Emission from a Drained Peatland in Kampar Peninsula, Riau Province, Indonesia	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Mizuno, Kosuke et al. ed. 2023, Vulnerability and Transformation of Indonesian Peatlands Singapore: Springer,	6. 最初と最後の頁 89-101
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/978-981-99-0906-3_	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Karmila Y A, Mizuno K, Maas A, Saiya H G	4. 巻 802
2. 論文標題 Adaptation management to minimize land fires in peatland hydrological unit Bengkalis Island	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 IOP Conference Series: Earth and Environmental Science	6. 最初と最後の頁 012010 ~ 012010
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1755-1315/802/1/012010	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tijjani S, Mizuno K, Herdiansyah H	4. 巻 940
2. 論文標題 The Loss of Ecosystem Services in Women ' s Forest at Youtefa Bay, Jayapura, Papua, Indonesia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 IOP Conference Series: Earth and Environmental Science	6. 最初と最後の頁 012061 ~ 012061
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1755-1315/940/1/012061	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Leo S, Supriatna J, Mizuno K	4. 巻 940
2. 論文標題 A Description of Dayak Iban ' s Traditional Knowledge on Customary Forest Management in West Kalimantan, Indonesia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 IOP Conference Series: Earth and Environmental Science	6. 最初と最後の頁 012074 ~ 012074
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1755-1315/940/1/012074	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 LEO SANDY、SUPRIATNA JATNA、MIZUNO KOSUKE、MARGULES CHRIS	4. 巻 23
2. 論文標題 Indigenous Dayak Iban customary perspective on sustainable forest management, West Kalimantan, Indonesia	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Biodiversitas Journal of Biological Diversity	6. 最初と最後の頁 424-435
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.13057/biodiv/d230144	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Utami Citra Fadhilah、Mizuno Kosuke、Hasibuan Hayati Sari、Soesilo Tri Edhi Budhi	4. 巻 16
2. 論文標題 Modeling Land Value in Peripheral Metropolitan: An Empirical Study in Jakarta Metropolitan Area	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 ACE: Architecture, City and Environment	6. 最初と最後の頁 1-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5821/ace.16.48.10631	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Retno Setiowatia、Kosuke Mizuno、Hayati Sari Hasibuan、Raldi Hendro Koestoer	4. 巻 43
2. 論文標題 Actor-network theory approach for urban green spaces planning: Study in Jakarta Capital City, Indonesia	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Kasetsart Journal of Social Sciences	6. 最初と最後の頁 1075-1084
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.34044/j.kjss.2022.43.4.33	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Charina Anne、Kurnia Ganjar、Mulyana Asep、Mizuno Kosuke	4. 巻 14
2. 論文標題 The Impacts of Traditional Culture on Small Industries Longevity and Sustainability: A Case on Sundanese in Indonesia	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Sustainability	6. 最初と最後の頁 14445 ~ 14445
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/su142114445	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Irianto Okto, Mizuno Kosuke, Burhanuddin Safri, Triaswati Ninasapti	4. 巻 14
2. 論文標題 Formulating an Excise Duty on Plastic: A Strategy to Manage Marine Plastic Waste in Indonesia	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Sustainability	6. 最初と最後の頁 16287 ~ 16287
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/su142316287	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Utami Citra F., Mizuno Kosuke, Hasibuan Hayati S., Soesilo Tri E.B.	4. 巻 15
2. 論文標題 Discovering Spatial Development Control For Indonesia: A Systematic Literature Review	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 GEOGRAPHY, ENVIRONMENT, SUSTAINABILITY	6. 最初と最後の頁 64 ~ 79
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24057/2071-9388-2021-119	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Charina Anne, Kurnia Ganjar, Mulyana Asep, Mizuno Kosuke	4. 巻 8
2. 論文標題 Sustainable Education and Open Innovation for Small Industry Sustainability Post COVID-19 Pandemic in Indonesia	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Journal of Open Innovation: Technology, Market, and Complexity	6. 最初と最後の頁 215 ~ 215
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/joitmc8040215	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hidayat Dian Charity, Mizuno Kosuke, Said Chairil Abidin Abidin, Herdiansyah Herdis	4. 巻 13
2. 論文標題 Implementation Framework for Transformation of Peat Ecosystems to Support Food Security	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Agriculture	6. 最初と最後の頁 459 ~ 459
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/agriculture13020459	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 . Setiowati, R.H. Koestoer, K. Mizuno, H.S. Hasibuan	4. 巻 9
2. 論文標題 Urban green space during the Coronavirus disease pandemic with regard to the socioeconomic,	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Global J. Environ. Sci. Manage.	6. 最初と最後の頁 1-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.22034/gjesm.2023.03.16.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Ratnasari Solichah, Mizuno Kosuke, Herdiansyah Herdis, Simanjutak Edward G. H.	4. 巻 15
2. 論文標題 Enhancing Sustainability Development for Waste Management through National?Local Policy Dynamics	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Sustainability	6. 最初と最後の頁 6560 ~ 6560
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/su15086560	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Septianingrum Dinni, Mizuno Kosuke, Herdiansyah Herdis	4. 巻 9
2. 論文標題 Extended Producer Responsibility for Waste Management Policy	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Jurnal Penelitian Pendidikan IPA	6. 最初と最後の頁 2686 ~ 2692
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.29303/jppipa.v9i5.3469	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Mizuno, Kosuke	4. 巻 巻なし
2. 論文標題 Two Centuries of Agrarian, Economic, and Ecological Shifts in the Northern Coast of Java (1812-2012)	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 in Mizuno et al eds, 2023, Two Centuries of Agrarian, Economic and Ecological Shifts in the North Coast of Java, 1812-2012, Yogyakarta; Gadjah Mada University Press	6. 最初と最後の頁 xxi-xxxiv
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kosuke Mizuno, Mahawan Karniasa	4. 巻 巻なし
2. 論文標題 Forestation Boom in Java: Afforestation in nonstate forest in rural Java	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Mizuno et al eds, 2023, Two Centuries of Agrarian, Economic and Ecological Shifts in the North Coast of Java, 1812-2012, Yogyakarta; Gadjah Mada University Press	6. 最初と最後の頁 174-190
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Mizuno, Kosuke, Zuli Laila Isnaini	4. 巻 巻なし
2. 論文標題 Agrarian, Agricultural, and Wage Changes in Comal 1905- 2012: Trending with the Indonesian Economy	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Mizuno et al eds, 2023, Two Centuries of Agrarian, Economic and Ecological Shifts in the North Coast of Java, 1812-2012, Yogyakarta; Gadjah Mada University Press	6. 最初と最後の頁 335-358
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Mizuno, Kosuke	4. 巻 巻なし
2. 論文標題 Deagrarianization, Dynamism, and Stratification in Comal 's Long-term Economic Development 1812-2012, an Exodus from 'Agricultural Involuiton'	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Mizuno et al eds, 2023, Two Centuries of Agrarian, Economic and Ecological Shifts in the North Coast of Java, 1812-2012, Yogyakarta; Gadjah Mada University Press	6. 最初と最後の頁 359-374
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Muhammad Diheim Biru, Mahawan Karuniasa, Kosuke Mizuno	4. 巻 29(3),
2. 論文標題 Livelihood Sustainability Assessment of Payment for cosystem Services Providers in Cidanau Watershed, Banten Province,	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Jurnal Manajemen Hutan Tropika	6. 最初と最後の頁 161-177
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7226/jtjm.29.3.161	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Suratin Aloysius, Utomo Suyud Warno, Martono Dwi Nowo, Mizuno Kosuke	4. 巻 15
2. 論文標題 Indonesia's Renewable Natural Resource Management in the Low-Carbon Transition: A Conundrum in Changing Trajectories	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 Sustainability	6. 最初と最後の頁 10997 ~ 10997
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/su151410997	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Suharyanti Nanik Ambar, Mizuno Kosuke, Nurfalah Lisa	4. 巻 1308
2. 論文標題 Intensification model of smallholder oil palm plantation to achieving sustainability and prosperity, Riau Province, Indonesia	5. 発行年 2024年
3. 雑誌名 IOP Conference Series: Earth and Environmental Science	6. 最初と最後の頁 012031 ~ 012031
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1088/1755-1315/1308/1/012031	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

[学会発表] 計39件 (うち招待講演 31件 / うち国際学会 32件)

1. 発表者名 Mizuno, Kosuke, Ahyahudin Sodri
2. 発表標題 Biomass energy - Alternative means of livelihood to palm oil-based biofuel production in Indonesia
3. 学会等名 AAERE 2021 at Seoul National University, Seoul Korea (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Mizuno, Kosuke
2. 発表標題 , Restorasi Gambut, Sumatera Indonesia, Pendekatan dari Ekonomi Lingkungan,
3. 学会等名 Seminar Nasional Pelestarian Lingkungan "Upaya Konservasi dan Pemanfaatan Lingkungan dalam Pelestarian Keanekaragaman Hayati (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1 . 発表者名 Mizuno, Kosuke
2 . 発表標題 Deforestation? Java in Colonial Time and Case of Peat Swamp Forest in Sumatra,
3 . 学会等名 SEMINAR INTERNASIONAL-"DEFORESTATION? WHAT LED UP TO IT ?" 30 November 2021, Universitas Pembangunan Nasional "Veteran" (招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 Mizuno, Kosuke
2 . 発表標題 Talun-Huma system, An Agroforestry in West Java, and its Resilience and Adaptability
3 . 学会等名 Konferensi International Budaya Sunda III, Rancage, 1-3, Desember 2021 (国際学会)
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 Mizuno, Kosuke
2 . 発表標題 Toward low carbon society; Renewable energy, peatlands and biomass in Indonesia
3 . 学会等名 International Seminar (Online) How to Attain Sustainable Low-Carbon Development of Indonesia with Appropriate Technology Choice, January 26th, 2022, SILUI (招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2022年

1 . 発表者名 Mizuno, Kosuke
2 . 発表標題 Peningkatan Peran Serta Stakeholder Pembangunan Terhadap Pembangunan Berkelanjutan dan Perubahan Iklim Global-Peranan dari Masyarakat-Community
3 . 学会等名 Seminar Nasional dengan platform zoom meeting dengan tema 'Peningkatan Peran Serta Stakeholder Pembangunan Terhadap Pembangunan Berkelanjutan dan Perubahan Iklim Global"(招待講演)(国際学会)
4 . 発表年 2022年

1. 発表者名 岡本正明、
2. 発表標題 「スマートシティが作るASEAN国際関係」
3. 学会等名 『体制間競争の時代における日本の選択肢：中国・権威主義体制に関する分科会』、東京大学（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Okamoto Masaaki
2. 発表標題 Smart City Building in ASEAN
3. 学会等名 Platform Economy and Transition in the Era under BRI-ASEAN, (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Okamoto Masaaki
2. 発表標題 Data-Driven Politics in Indonesia: Actors and Tools,
3. 学会等名 Sekolah Musim Panas, "Social Media Activism, Digital Resilience and Resistance to Democratic Regression", (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Okamoto Masaaki
2. 発表標題 Lokalisasi Kekuasaan Pasca Otoritarianisme di Indonesia
3. 学会等名 Webinar Peluncuran Buku Edisi #2 (Banten), (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Okamoto Masaaki,
2. 発表標題 Smart City Politics in Southeast Asia,
3. 学会等名 WCU Program: Webinar Top Scientist: Universitas Sumatera Utara (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 , Mizuno, Kosuke
2. 発表標題 Bioenergy, oil palm and people's initiative for the renewal energy in Indonesia,
3. 学会等名 Workshop on Bioenergy toward the Climate 1.5C target and the SDGs in Indonesia, 13 March 2020 (Fri) Universitas Indonesia (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kosuke Mizuno
2. 発表標題 , Agrarian Changes and Environment- The Case of Peatland Restoration in Indonesia
3. 学会等名 1st International Conference on Contemporary Sociology and Educational Transformation (ICCSET 2020), (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kosuke Mizuno
2. 発表標題 Land Title and Peatland Restoration
3. 学会等名 The 1st JESSD Symposium, September 28-30, 2020, Universitas Indonesia (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kosuke Mizuno
2. 発表標題 Agrarian Reform and Peatland Restoration for Achieving Sustainable Development in Indonesia
3. 学会等名 International Virtual Conference on Business, Science, and Technology for Sustainable Development in Zoom Webinar on 9th of December 2020. INDEF, Jakarta (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Kosuke Mizuno
2. 発表標題 Alternative Development of Indonesia toward A Sustainable Future: The Role of Small-Medium Scale Industries,
3. 学会等名 Webinar SILUI-APEX International Seminar on Appropriate Technology Choice for Alternative Development of Indonesia - Toward A Sustainable Post-Pandemic Society (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kosuke Mizuno
2. 発表標題 Ekonomi Masyarakat Gambut: Melawan Resiko (tapi ada untung besar/kecil juga)
3. 学会等名 Seminar Water Sharing, BRGM, (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kosuke Mizuno
2. 発表標題 Restorasi Gambut Permanen dan Rehabilitasi Mangrove Untuk Kebangkitan Ekonomi dan Perlindungan Lingkungan Kawasan Pesisir Riau
3. 学会等名 Restorasi Gambut Permanen dan Rehabilitasi Mangrove Untuk Kebangkitan Ekonomi dan Perlindungan Lingkungan Kawasan Pesisir Riau, Tanjung Leban, Riau, Maret 27, 2021 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 岡本正明
2. 発表標題 「インフォーマルな暴力の「政治参加」の常態化 インドネシアの事例から 」
3. 学会等名 日本比較政治学会2020年度研究大会分科会「インフォーマルな政治制度とガバナンス」、大阪（オンライン）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 岡本正明
2. 発表標題 インドネシアの大統領選挙、ローカル・ガバナンスに関するツイッター分析」
3. 学会等名 国立大学附置研究所・センター会議第3部会（人文・社会科学系）シンポジウム「データからみる地域研究」、招待、京都大学こころの未来研究センター京都（オンライン）（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Okamoto Masaaki
2. 発表標題 Islam Nusantara Study and beyond,
3. 学会等名 The International Class on Asian Community 2020, 基調講演, Universitas Bangka-Belitung (Indonesia),パンカルピナン（インドネシア）（オンライン）, 2020年7月9日Universitas Bangka-Belitung（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Okamoto Masaaki
2. 発表標題 Politics of Decentralization in Indonesia and beyond: Dynasty, Bureaucracy and Perception.
3. 学会等名 the International Conference on Social Politics and Humanities (ICoSoPH), (招待講演)（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Okamoto Masaaki,
2. 発表標題 Emerging Digital Politics in Indonesia,
3. 学会等名 Webinar Kuliah Umum Jurusan Ilmu Pemerintahan, Fakultas Ilmu Sosial dan Politik, 基調講演, Universitas Riauプカンバル(インドネシア)(オンライン), 2020年11月9日, Universitas Riau(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Mizuno, Kosuke
2. 発表標題 Commitment and Entitlement Approach For Land Rights
3. 学会等名 GLF (Global Land Forum) Kyoto 2019 (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Mizuno, Kosuke
2. 発表標題 The Palm Oil Business Boom and Dutch Disease in Indonesia- De-industrialization and development of non-tradable sectors,
3. 学会等名 " International Conference on Economics, Public Policy and Development (INCEPD) " (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Mizuno, Kosuke
2. 発表標題 " International Conference on Economics, Public Policy and Development (INCEPD) "
3. 学会等名 Thirtieth AEPR Conference (招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2019年

1 . 発表者名 Mizuno, Kosuke
2 . 発表標題 Commitment and Entitlement Approach For Land Rights
3 . 学会等名 ICESSD 2019, School of Environmental Science, University of Indonesia (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Mizuno, Kosuke
2 . 発表標題 Hutan, Kawasan Hutan, Talun, Agro forestry,
3 . 学会等名 The 1st International Symposium On Rural Landscapes and Localities (ISRL): Sustainable Agriculture in The Midst of Current Agrarian Change (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Mizuno, Kosuke
2 . 発表標題 Bisnis Komoditi Ramah gambut, Trend Lokal, Nasional dan Global,
3 . 学会等名 Pertemuan Ilmiah Nasional Restorasi Kesatuan Hidrologis Gambut Berbasis Integrasi Pengetahuan dan Inovasi Teknologi, (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Mizuno, Kosuke
2 . 発表標題 The establishment of the State Forest system and its hostility to Local people in Indonesia
3 . 学会等名 SEASIA Biennial Conference 2019 "Change and Resistance: Future Directions of Southeast Asia " (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1. 発表者名 Okamoto Masaaki
2. 発表標題 Politics of Mapping: New Technology for Convivial Society
3. 学会等名 The 5th International Conference on Social and Political Science (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Okamoto Masaaki
2. 発表標題 Future Direction of Local Politics Study in Indonesia and Southeast Asia
3. 学会等名 Symposium on the Future of Indonesian Politics: Analyzing the Outcomes and Implications of the 2019 Elections (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Okamoto Masaaki and Abdul Hamid
2. 発表標題 Being Anti-Oligarchic but Being Undemocratic (?) in Local Indonesia: Rise of Kotak Kosong Movement
3. 学会等名 AAS-in-Asia Conference 2019 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 岡本正明
2. 発表標題 TD研究「インドネシアにおける小規模アブラヤシ農園の持続可能ガバナンスの樹立に向けて」とその後
3. 学会等名 フューチャー・アース・シンポジウム：持続可能な未来社会をめざして (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大澤隆将
2. 発表標題 空間認識の錯綜：国家、開発、泥炭」. 研究会：統治のフロンティア空間をめぐる人類学
3. 学会等名 国立民族学博物館
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大澤隆将
2. 発表標題 議論無き選挙：東部スマトラに暮らすアキットの村落長選挙を通して
3. 学会等名 文化人類学会第53回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kagoya Kazuhiro and Hasegawa Takuya
2. 発表標題 “ The Politics of Inter-governmental Funds between District Governments and Provinces in Indonesia: From Results of Java Local Government Survey. ”
3. 学会等名 Asian Association for Public Administration(AAPA)2019 Annual Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計5件

1. 著者名 Mizuno, Kosuke, Osamu Kozan, Haris Gunawan	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 222
3. 書名 Vulnerability and Transformation of Indonesian Peatlands	

1. 著者名 Masaaki Okamoto, Takamasa Osawa, Wahyu Prasetyanwan, Akhwan Binawan ed	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Springer	5. 総ページ数 325
3. 書名 Local Governemence of Peatland Restoration in Riau, Indonesia , A Transdicjhiplinary Apprcah	

1. 著者名 Mizuno, Kosuke, Pujo Semedi, Gerben Nooteboom ed	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Gadjah Mada University Press	5. 総ページ数 416
3. 書名 Two Centuries of Agrarian, Economic and Ecological Shifts in the North Coast of Java, 1812-2012,	

1. 著者名 OSAWA Takamasa (大澤 隆将)	4. 発行年 2022年
2. 出版社 京都大学学術出版会	5. 総ページ数 250
3. 書名 At the Edge of Mangrove Forest	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	岡本 正明 (Okamoto Masaaki) (90372549)	京都大学・東南アジア地域研究研究所・教授 (14301)	
研究分担者	大澤 隆将 (Osawa Masashi) (40795499)	総合地球環境学研究所・研究部・上級研究員 (64303)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	長谷川 拓也 (Hasgawa Takuya) (50760534)	東洋大学・アジア文化研究所・客員研究員 (32663)	
研究分担者	Meutia Ami Aminah (Meutia Ami Aminah) (10623845)	京都大学・東南アジア地域研究研究所・連携研究員 (14301)	
研究分担者	亀田 堯宙 (Kameda) (10751993)	国立歴史民俗博物館・大学共同利用機関等の部局等・特任助教 (62501)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

国際研究集会 Peatland Restoration and Land Rights, February 7, 2020 at Center for Agrarian Studies, Bogor Agricultural University, Indonesia	開催年 2020年～2020年
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
インドネシア	インドネシア大学	ボゴール農業大学	泥炭マングローブ回復庁	他4機関
インドネシア	土地情報センター	ボゴール農業大学土地研究センター	インドネシア大学大学院環境学研究科、	他3機関